



和歌山市立和歌山高校の「市高デパート」で商業体験をする学生と

インタビュー

議長就任 1 年を振り返って

活動報告

和歌山市民図書館の来館者が 200 万人達成、ほか

SNS の取り組み

Z世代に届け！ SNS 発信でより開かれた議会へ



戸田正人

活動報告

和歌山市民図書館が来館者数 200 万人を達成

2020年6月にオープンした和歌山市民図書館。2021年9月に来館100万人を突破し、2023年1月7日には来館200万人を達成しました。10年前から一般質問で新たな図書館の構想を提案してきた私にとって、市民の皆さんから好評をいただき大変嬉しく思っています。



調査の仕組み生かし、体験型アートで賑わい創出

2022年8月に市役所前で体験型アートを実施しました。実はこれ、大阪大学発のベンチャー企業と和歌山市が協業し、まちなかのにぎわい創出に向けた人流データに基づく政策作りの実証実験なんです。データ活用のために用いた「人を感知する仕組み」に、映像や音楽を加えて体験型アートを提供。データ取得と同時に街中がデジタルアートにあふれる仕組みを作ることにより、新たなまちづくりの価値提供が可能になると考えています。



大切な思い出はそのまま 旧保育所が交流施設に

廃園後の旧四箇郷保育所を地元住民、民間企業、行政が三位一体で取り組み、生まれ変わった住民交流施設「シカゴテラス」。保育所の思い出が残る施設に、焙煎コーヒー店、パン工房、カルチャー教室の店舗と地域住民が無料で活用できる交流センター等が併設されています。ぜひ「シカゴテラス」にお越しくださいませ。



Z世代に届け！ SNS 発信でより開かれた議会へ

市民にもっとも身近な政治の場である議会を知っていただくため、和歌山市議会ではSNSを用いた広報改革に取り組んでおります。

議会便りやホームページは、一方通行型の情報発信。**SNSを利用することで市民と双方向のやり取りが可能になります。**双方向型の発信で市民の声を聞き、開かれた議会を目指します。

2022年には、地元のお笑い芸人「すみにに兄弟」が出演して、ガチガチにお堅いイメージの議会傍聴を爆笑ネタで分かりやすく伝える広報動画を制作。また、大学生が出演する動画では、市議会の場所や誰でも傍聴できることなどの議会情報を紹介しております。



戸田（前列中央）と「すみにに兄弟」（右から1人目、2人目）



地元大学生が議会の見学方法を紹介

YouTube
和歌山市議会
チャンネル





議長に就任して1年

"公民共創"で課題を解決することが重要

一経歴一

- 1967年(昭和42) 和歌山市加納で生まれる
- 2002年(平成14) 和歌山市議会議員補欠選挙 初当選
- 2011(平成23) 和歌山市教育民政委員会 委員長
- 2019年(平成31) 和歌山市議会議員選挙 5期当選
- 2022年(令和4) 和歌山市議会議員 議長就任

昨年、議長に就任した戸田。和歌山市が抱える課題や未来の展望について、今の率直な考えをスタッフが聞いた。

幅広い分野で地域課題に直面

――議長になって約1年経ちます。

戸田 今まで無所属議員として務めてきましたが、2022年3月8日に自民党へ入党。3月10日に第88代和歌山市議会議長に就任となりました。今まで無所属議員として築き上げてきた自分の政治スタンスを変えず政治家としてワンランクアップできるように頑張りたいです。

――1年を振り返っていかがですか？

戸田 長引くコロナ禍や原油高、円安などによって厳しい経済状況に陥りました。さらに、緊迫するウクライナ情勢の影響により、市民生活は大変圧迫されることとなりました。また、未来に向けた社会の動向は技術の開発による急速なデジタル化社会「Society 5.0」や温室効果ガスの排出をゼロにする「カーボンニュートラル」の実現、持続可能な開発目標「SDGs」などが提唱され、社会の仕組みは大きな転換期を迎えています。そのため、和歌山市においても幅広い分野で新たな課題に直面しています。

――その課題をどう解決しますか？

戸田 課題を抱える分野が多岐にわたっており、ニーズも多種多様。行政だけで解決するには極めて困難な状況です。この状況を乗り越えるには、行政と民間が協力して共に創り出す「公民共創」によって課題を解決することが重要です。

公民共創で社会課題を解決

――公民共創はどのようなものですか？

戸田 民間企業が所有する資源と行政が持つ資源を集結し、新たな価値を共有し創出することで課題を解決しようという試みです。民間企業は歴史のある企業に加えて、スタートアップ企業、社会的企業、大学、NPOなどが課題解決の担い手になります。

――和歌山市で事例はありますか？



京橋親水公園の開園イベントでは体当たりでSUP体験

戸田 2020年6月に開館した和歌山市民図書館は、「蔦屋書店」や「TSUTAYA(ツタヤ)」を展開する「カルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)」が運営しています。和歌山市が今まで培ってきた図書情報資源とCCCの持つ書店運営のノウハウを掛け合わせ

せています。以前の市民図書館の約5倍の来館者があり、多くの市民の皆さんに活用していただいています。

公民共創こそが新たな

地域産業のスタートアップ

――公民共創を通して、どのような発展が見込めますか？

戸田 地域課題を解決していくときには公と民が共創するからこそできる新しい発想が生まれます。その発想こそが、市民の利便性を高め、更には起業や新規事業に繋がっていくと考えております。

――生まれた発想が、新たな事業の種になるといふことですね。

戸田 はい。その発想を生かして、地元企業や団体による新規スタートアップ企業の設立や新規産業の育成を目指していきたいです。公民共創こそが、新たな地域産業のスタートアップとも言えると思っています。

――最後に市民の皆さんにメッセージを。

戸田 今後、公民共創から多様な課題解決に取り組み、新たな時代における和歌山市の変化を市民の皆さんが実感していただける未来ビジョンを描いていきたいと思っています。

議長の役割とは？

議員の中から選ばれた 議会全体のまとめ役

- 議員の中から選挙により選ばれる。
- 福祉・教育・産業・道路・上下水道などの意見を市政に反映するための活動
- 市担当課からの進捗状況報告や事業相談
- 議会の事務を監督・指示し、処理する。
- 市の懸案事項等に関する現場視察
- 市の附属機関での活動(国民健康保険運営協議会、都市計画審議会、市民図書館運営協議会、空家等対策協議会など)
- 国や国会議員への要望活動
- 和歌山県議会議長会 近畿市議議長会和歌山県支部長・全国市議会議長会理事を務める。県下9市の代表であり、全体の意見書や要望書をまとめ、国会議員等への要望活動など。

最近よく聞くあの言葉

未来に向けた 社会の取り組みを表す用語解説

- ダイバーシティ** 直訳で「多様性」の意味。人種・国籍・年齢・性別・能力・価値観などさまざまな違いを持った人々が組織や集団において共存している状態。
- カーボンニュートラル** 二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」と植林などによる「吸収量」を差し引き、合計を実質ゼロにすること。脱炭素社会とも呼ばれる。
- Society 5.0** 仮想空間と現実空間を融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会を目指す取り組み。日本が提唱する科学技術政策のひとつ。
- SDGs** 「2030年までに、世界中にある環境・教育・貧困・人権といった17の課題を解決して、将来の世代に豊かな地球・社会を残そう」という国際的な計画・目標。

公民共創による主な実証実験



大手家電メーカーと地元食材を繋ぐ実証実験

地元の食材をヘルシオ・ホットクックで調理する料理教室を開催。鶏のうめ酢照り焼き・豚肉の金山寺みそ焼き・しらすトーストなどを作りました。



和歌山市関係人口創出モデル実証事業

他府県へ転出した人に向けて、成人式や同窓会など和歌山市を好きになる情報を発信。転出者との繋がりを維持して、離れた後も和歌山市を応援してもらうプロジェクト。

議長の活動

岸本周平県知事を表敬訪問



岸本周平新和歌山県知事を表敬訪問してまいりました。県市協調の時代から県市共創の時代、共に社会や地域課題の解決に向け取り組んでまいりたいと意見交換させていただきました。行政だけでは解決できない課題も、県市共創、更には民間企業を交えた公民共創で解決していく時代。和歌山に元気と希望を。

市民憲章硬筆競書会



和歌山市民憲章硬筆競書会が開催され議長賞をお渡ししました。昭和41年から始まり、競書会を通じて児童生徒に市民憲章を理解してもらい取り組みは全国で和歌山市だけ。一つひとつの作品は、みんな違って、みんな良かったです。受賞されたみなさん、おめでとうございます。

市立幼稚園視察



市立幼稚園の視察に行き、園長先生や保護者の方々と意見交換をしました。少子化に伴う公立幼稚園の指針は、2016年に立てられた和歌山市立認定こども園整備計画に沿ったもの。ですが、昨今の保育ニーズや地域における立地環境、更には待機児童の解消等の問題から、公立幼稚園の在り方を再考しなければならない時が来たかもしれません。

世耕弘成参議院幹事長に要望活動



世耕弘成参議院幹事長に要望活動。自治体の水道管敷設替えや複線化に関する一層の支援について、GIGA スクールの児童用パソコンの修理や買い替え（アップデート）に対する支援について等です。

社会見学で学生が議会に



河北中学校のみなさんが議会見学に来られました。一人ひとりが議長席に着座する体験をしていただき、「将来、和歌山市を良くするんだという思いで議員を目指す人がこの中から出て欲しいです」と未来の議員を期待しメッセージを伝えました。

和歌祭四百年祭



和歌祭四百年式年大祭に議会を代表して参加させていただきました。俳優の松平健さんが暴れん坊将軍こと徳川吉宗公に扮し、華を添えていただきました。四百年間、連綿と続いてきた和歌祭は、たとえデジタルの時代が訪れても、変わらぬ姿で未来へと繋げていかなければならない和歌山市民の歴史と文化とアイデンティティだと感じました。また、市民主導（和歌祭保存会や実行委員会等）のまちづくりのヒントをいただいた気がします。感動しました！

消防出初式



和歌山市を守る消防組織の団結式「令和5年和歌山市消防出初式」が部隊総数107隊1203人が参加のもと執り行われました。来賓としてお招きいただき、「消防職員、消防団、婦人防火クラブ、自主防災隊の皆さんに感謝を申し上げます。自助・共助・公助のまちこそ災害に強いまちとなり、レジリエントのまちとなり、住み続けたい、そして、戻ってきたいまちとなります。」とご挨拶させていただきました。これからも和歌山市の安心安全のため、ご尽力いただきますよう宜しくお願い致します。

体育の日に市民の方々と体育大会へ

第59回和歌山市婦人総合体育大会に来賓としてお招きいただき、市民の方々と体を動かす機会をいただきました。大玉転がしを張り切ってやった結果、右のスニーカーがぶっ飛び、私は大転倒（笑）みなさんの爆笑をとることが出来ました！腹を抱えて笑い、体を動かすことは大切なことですね。



学童保育の現場の声を聴く



若竹学級（学童保育）の現場を視察してきました。現場に行き、指導員の声を聞き、そして、子ども達の声を聞いてこそ理解できる現状がありました。改善できるところは速やかに行くと共に、岸本県知事は子ども子育て予算の拡充を、尾花市長は子育て日本一を目指していることから、若竹学級の待機児童の改善や施設等の環境改善にも繋げていきたいと考えます。

自治会長感謝贈呈式



地域の為にご尽力下さった自治会長さんに議会を代表して、退任自治会長感謝状贈呈式と永年自治会長感謝状贈呈式で感謝の意をお伝えしてきました。各地域の声、各地域の課題解決こそが和歌山市のまちづくりの原点となるものです。地域力を高め、未来に向けた和歌山市の制度設計を高めていきたいものです。

まちなかで朝食を



議会に登庁する前に、はじめ食堂で朝メシとして和歌山のソールフード「おかいさん（茶がゆ）」を食べ1日のパワーを充填しました。まちなかで朝食を、とのコンセプトで、当時とくらべ元気がなくなってきた北ぶらくり丁商店街を盛り上げるため公民連携で取り組んでいます。

防災を考える学生団体



学生団体 WAKA×YAMA 主催のアイデアソンに特別ゲストとしてお招きいただきました。中高生が大学生メンターらと避難所生活をテーマに課題解決に取り組みました。ビジネスモデルとして課題のインサイトを深掘りし、フィールドワークを重ねながらセグメントを定め、若者目線のアイデアで解決策を提案する構成は大人顔負けの内容。優勝したチームは「被災時に受験生が勉強できるスペースを開放する」事業、市議会議長賞をお渡ししたチームは「LINE 公式アカウントを作り、災害時に聴覚障がい者をサポートする」事業でした。若者が和歌山も思い、新たな事業アイデアを競うコンペにて彼ら彼女らの思いを具現化し、若者でもまちづくりができるんだと認識していただき、今後の活動に活かさせていって欲しいものです。